



第2分団第1部 (上下染田) 12年ぶりの 郡大会の雪辱晴らす



1郡大会での悔しさをバネに、正確さ、スピード、規律すべてで高い技術を披露し、優勝をつかんだ第2分団第1部 2 8人全員で12年ぶりの優勝を喜ぶ部員たち

クローズアップ / 県消防操法大会

第31回熊本県消防操法大会

は9月2日に山鹿市カルチャースポーツセンター第1駐車場で開かれ、ポンプ車の部に出場した第2分団第1部(上下染田)が平成18年の第26回大会以来12年ぶりとなる優勝を果たしました。



たくさんの人が見守る中、最優秀選手として表彰された3選手(写真=椎葉恭介選手)

消防技術を高めるために、県と一般財団法人熊本県消防協会が主催し、2年に一度開催。今回は熊本地震の影響で中止され、今回4年ぶりに開催されました。

小型ポンプの部とポンプ車の部の2種目で競技が行われ、ポンプ車の部には各支部の予選を勝ち抜いた14チームが出場。最優秀選手に指揮者の椎葉恭介さん(41)、3番員の中田潔裕さん(27)、4番員の椎葉浩樹さん(27)が選ばれる活躍をみせるなど、各選手が一糸乱れぬ動作を披露。選手たちの見事な操法に会場中から大きな拍手が送られました。

部員たちは、9月12日に町役場を訪れ、鶴田正巳町長や倉本豊議長に結果を報告。鶴田町長は「皆さんのような活躍が町民に安心感を与える。結果は消防への意識の高さや地域への思いの表れ。本番に向けて、けがのないように調整し、町の消防活動を全国にアピールできるような頑張っていたください」とエールを送りました。

第2分団第1部は10月19日に富山県富山市の広域消防防災センターで開催される全国大会に県代表として出場します。

〈競技結果〉

■ポンプ車の部

①湯前町

②芦北町

③多良木町

■最優秀選手

○指揮者

○3番員

○4番員

○4番員

○4番員

○4番員

Voice of players 出場選手の声

日々練習に励み、夢の舞台への出場を決めた第2分団第1部。選手たちに全国大会への意気込みを語ってもらいました。

指揮者 椎葉 恭介(41)

12年ぶりの全国大会なので、楽しみにしています。郡大会で悔し涙を流し、2位で県大会への出場を決めましたが、その悔しさをバネに気合の入った練習ができました。とても良い形で県大会に挑むことができ、結果として優勝をつかみ取ることができました。12年前の全国大会では表彰を受けることができなかったで、今回は優勝目指して頑張ります。

Kyosuke Shiiba



Yusei Nakagama



1番員 中釜 由晴(26)

郡、県大会では、普段通りの競技ができました。私たちの目標だった全国大会出場を決めることができうれしく思っています。全国大会に向けて、細かな修正点を改善していき、万全の状態でも挑みたいと思います。大会当日は会場の雰囲気を楽しみつつ、練習通りの競技をしたいです。

Noriyoshi Seya



2番員 瀬谷 憲功(29)

郡大会での悔しい経験もあり、県大会では「絶対勝つ」という強い気持ちで挑めたからこそ優勝できたのだと思います。この結果は、支えていただいている皆さんのおかげでもあります。全国大会では、感謝の気持ちを忘れずに、全力で挑みたいと思います。3位入賞を目指します。

Yukihiro Nakata



3番員 中田 潔裕(27)

みんなで切磋琢磨しながら頑張ってきました。優勝はまわりの協力のおかげです。個人表彰よりも、みんなで優勝旗をもって帰れたこと、先輩を全国へ連れて行くという夢が叶ったことが、何よりもうれしかったです。全国大会では、細かいところを修正しながら、上位を目指したいです。

Hiroki Shiiba



4番員 椎葉 浩樹(27)

郡大会では2位という成績でとても悔しかったです。県大会では、4年前の悔しさが、絶対に優勝する気持ちで練習を続けてきました。結果が出てよかったです。全国大会では、今まで練習してきたことを精一杯発揮して、優勝を目指したいです。全国の優勝旗を湯前に持ち帰ります。